

6/2 午前 10 時 長良川鉄道 郡上八幡駅に集合。講師の小森さんをいれて 17 名。小さな子供さん 2 人も お父さん、お母さんと元気に まず那比の森 小森講師の会社の間伐作業現場へ出発しました。

現地で 「皆さん 木を伐ることは環境破壊だと思いますか?」と問いかけがありました。私は 自然破壊になると聞き 割り箸を使い捨てにすることが勿体なく思えて嫌で マイ箸を持ち歩いているので??・・・。



山を循環させて 森林をどう守るのか・・・。毎日の作業とか きれいごとでない具体的な話を お日様の光の入る明るい手入れされた林の中で聞くと 理屈より先に心に浸みていきました。参加者からの質問もどんどん出て 丁寧に答えてもらうなかで 知識のない私にも分かることが沢山ありました。

昼食をはさみ 郡上市文化センターで昨年ドイツへ行かれた時の話を聞き ドイツにはフォレスターという森林管理者がいて こんな材が必要と注文があると あそこの あの木がいい!!と言えるほど キチンと森を管理していると聞きビックリし 日本も早く早くそうなって 林業が産業としてやっていけるようにならないといけない!と感じました。

木を植えばなしにしないで間伐しながら森を整備していくこと。そして オーバーですが今の私でもできる森を守ることは 日本の割り箸を使うこと。木を伐採して使うことは森林破壊にはならず むしろ良い状態の森として循環させることができることを この講座で教えてもらいました。

楽しかったです。有難うございました。

岡 久米子